

みずほCustomer Desk Report 2018/06/21 号(As of 2018/06/20)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	110.03 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.09	1.1589	127.57	1.3170	0.7390
SYD-NY High	110.45	1.1600	127.93	1.3218	0.7409
SYD-NY Low	109.85	1.1537	127.10	1.3145	0.7367
NY 5:00 PM	110.36	1.1573	127.77	1.3170	0.7368
NY DOW	24,657.80	▲ 42.41	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,781.52	55.93	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,767.32	4.73	米国2年債	2.5639	1.66bp
日経平均	22,555.43	276.95	米国5年債	2.8069	3.58bp
TOPIX	1,752.75	8.83	米国10年債	2.9361	4.03bp
シカゴ日経先物	22,520.00	265.00	独10年債	0.3745	0.30bp
ロンドンFT	7,627.40	23.55	英10年債	1.2975	1.85bp
DAX	12,695.16	17.19	豪10年債	2.6395	2.20bp
ハンセン指数	29,696.17	228.02	USDJPY 1M Vol	6.71	▲0.66%
上海総合	2,915.73	7.91	USDJPY 3M Vol	7.34	▲0.34%
NY金	1,274.50	▲4.10	USDJPY 6M Vol	7.90	▲0.24%
WTI	65.71	0.81	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	194.98	1.16	EURJPY 3M Vol	9.15	▲0.42%
ドルインデックス	95.06	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	9.35	▲0.33%

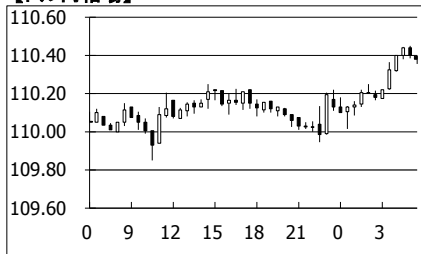
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月20日	15:00	独 PPI(前年比/前月比)	5月 2.7%/0.5%	2.5%/0.4%
	22:30	欧 ECBフォーラム パネルディスカッション	-	-
		パウエルFRB議長「漸進的な利上げを継続する論拠は強い」		
		黒田日銀総裁「物価目標達成には3%の賃金上昇必要」		
		ドラギECB総裁「インフレ率が目標に向け上昇していくと確信」		
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月 5.43m	5.52m

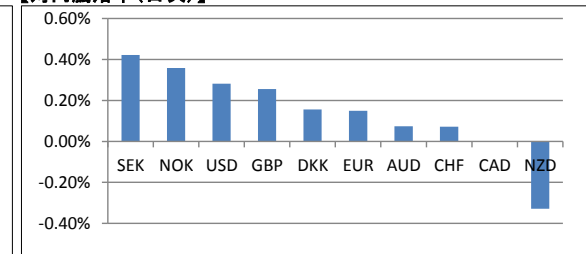
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月21日	18:45	欧 バイトマン・ドイツ中銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 220k	218k
	22:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-110.90	1.1500-1.1650	126.50-129.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は、「中国が米関税に対し強力な対抗策を考慮」とのヘッドラインがあるなど、引き続き米中貿易摩擦の懸念があるもの、パウエルFRB議長が「経済は好調で見直しへのリスクが均衡する中、緩やかな利上げを継続する根拠は依然強い」などと述べ、米金利が上昇したことなどから、ドル円は上昇し110.40付近まで上昇した。米中貿易摩擦懸念があり、ヘッドラインリスクには注意が必要だが、米国株式市場ではナスダック総合が過去最高を更新し、VIX指数も落ち着きを取り戻していることから、本日もイベントが少ないながら、ドル円は底堅い動きが継続しそうだ。

東京	前日の米中貿易戦争懸念の再燃にリスクオフが意識される中で東京時間のドル円は110.09レベルでオープン。コト一日ということもあり本邦勢による実需フローが散見される中で一時109.85まで下落する場面が見られるも、109円台では押し目買いの動きもあってか110円台をすぐに回復。その後、一時前日比でマイナス圏に落ち込んでいた日経平均株価がプラス圏に浮上し堅調な値動きとなったことや、中国株が下げ止まったことなども好感され、ドル円も110円台での底堅い展開となり、結局110.15レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.15レベルでオープン。欧州時間は材料難ということもあり小幅な値動き。昼前にEUが米国への報復関税を22日から発動と伝わりとやや円が買われる展開となり、結局110.03レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1576レベルでオープン。ポトリ-ECB理事が欧米金利差拡大を背景に「ユーロは対ドルで下落する」と発言したことが伝わると一時1.1537に低下するも、その後は買い戻され1.1575レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3169レベルでオープン。この日、下院でのアレクシス関連法案の採決があることもあり、政局への警戒感から上値の重い推移となり1.3145まで一時値を下げる展開となるも、その後は買戻しが入り結局1.3178レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	米中貿易摩擦の懸念は継続するものの、新規ヘッドラインがない海外市場では、ドル円は110.15近辺を方向感なく推移し110.03レベルでNYオープン。朝方は110.13まで上昇するが、「中国が米国の追加関税に対し強力な対抗策を用意」とのヘッドラインが流れ、米金利の低下と共に109.95まで下落する。その後、シフトで行われている日米欧中銀総裁によるパネルディスカッションにて、パウエルFRB議長が「漸進的な利上げを継続する論拠は強い」と述べると、ドル円はドル買いで反応し110.22まで上昇するが、米株が貿易摩擦懸念から前日比マイナス圏に転落する中で上値は重く110.02まで反落。午後は米株が下げ止まり、米金利がじりじりと上昇する中、ドル円は200日移動平均線付近となる110.25を抜けると110.45まで上昇し、結局110.36レベルでクロス。一方、ポトリ-ECB理事が「欧米金利差から対ドルでユーロは下落する展開になっている」と発言したことから海外市場のユーロドルは1.1537まで低下するが、この水準では買い意欲もあり1.1576まで上昇し1.1575レベルでNYオープン。早朝の流れを引き継ぎ、朝方はユーロ買いが優勢な展開が続く1.1600まで上昇するも、パウエルFRB議長の発言を受け1.1567まで反落。米中貿易摩擦問題の懸念が残る中、その後もユーロ買いが優勢な展開が続く1.1596まで上昇。欧米金利差が意識され1.1600近辺では上値は重く、結局終盤にかけて反落し1.1573レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報提供を無償で提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：菊池・鶴田